学校番号	３１９

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	はじめる日本史（Ｚ会出版）・実力をつける日本史１００題（Ｚ会出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象を現在とのかかわりの中で捉えるようにしましょう。
・時間（たて）と空間（よこ）の両面から歴史的事象を捉えましょう。
・歴史に対する興味関心を高めましょう。
・基本的な項目から理解を深め、実戦問題にチャレンジしていきましょう。

2　学習の到達目標

グローバル化がすすむ現代において、国際関係や相互理解を深めるために、歴史的な知識や関係性を理解し、平和で民主的な国家に生きる公民として次の資質・能力を育成する。
①　現代につながる歴史的事象を学び、大まかな歴史の流れを理解できる。
②　史料・地図・統計などから時代背景や国際事情を関連付けて考察することができる。
③　歴史的事象や流れを理解するために問題演習や資料検討に取り組み、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習を通して、日本史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りまとめることができる。	問題演習を通して、現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	問題演習を通して、歴史的事象に興味関心を高め、意欲的に追求している。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始時代	・旧石器文化と縄文文化 ・弥生文化と邪馬台国	a:　日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化・古墳文化の形成について理解し、その知識を身につけている。必要な史料・資料等を正確に読み取りまとめることができている。 b:日本列島の歴史を東アジア地域の中に位置づけ、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:　日本列島における歴史を意欲的に追及しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

	古代（古墳・飛鳥時代・奈良時代）	・古墳文化とヤマト政権 ・飛鳥時代の政治と飛鳥文化 ・律令国家の成立と白鳳文化 ・律令制度 ・奈良時代の政治・外交 ・奈良時代の社会・天平文化	a：大和王権が東アジア世界の大きな変動のなかで動揺したことを理解し，推古朝で進められた諸改革に関する知識を身に付けている。 大化の改新をはじめとする律令国家の形成にいたる大きな政治的事件について理解し，律令国家のしくみに関する知識を身に付けている。 平城京における人々の暮らしについて理解し，中央集権体制のしくみや奈良時代の政治の動向に関する基本的な知識を身に付けている。文献史料を読解するとともに，飛鳥文化についてはその世界性を建築や彫刻などの作品を通じて読み取っている。律令国家の形成に向けた課題について，改新の詔の史料などから情報を読み取るとともに，官制図などから律令国家のしくみの特色についても読み取っている。 平城京における人々の暮らしについて，平城京の図や復元された建造物，出土した木簡などの資料を活用して適切に情報を読み取っている。 b：６世紀から８世紀の課題について，東アジア世界の大きな変動のなかで国政改革が進んだ点を考察し，自らの考えを適切に表現している。 c:推古朝の国政改革や飛鳥文化の展開，律令国家のしくみに関わる課題に関心を持ち、国際色豊かな奈良時代の文化の特色についての課題を意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

	古代(平安時代)	・平安遷都と弘仁・貞観文化 ・摂関政治と荘園制度 ・国風文化 ・武士の成長	a: 桓武天皇や嵯峨天皇の時代に進められた律令体制の再建について理解し，新たな唐風文化に関する基本的な知識を身に付けている。 摂関政治の特色について理解し，地方政治の大きな転換と武士団の形成に関する基本的な知識を身に付けている。国風文化期における東アジア情勢を理解し，貴族の生活や国文学の発達，浄土教の流行などに関する基本的な知識を身に付けている。平城京や平安京の図を活用し，遷都の目的地に必要な条件として何が重視されたのか，地図から情報を適切に読み取っている。 系図を活用し，藤原氏が天皇と密接な関係を築き上げたことを読み取るとともに，尾張国郡司百姓等解文などの史料から，地方では国司の圧政が行われたことを読み取っている。 絵巻物などの絵画資料を活用し，情報を適切に読み取ることで，衣食住などに関して平安時代の貴族がおくっていた生活のイメージを具体的に描いている。 b: 平安初期の桓武天皇・嵯峨天皇の時代に律令体制の再建が進んだ背景や，最澄と空海の宗教活動にみられる新たな文化の特色を考察し，自らの考えを適切に表現している。 摂関政治をなりたたせた理由や，同時代に地方政治が大きく転換した背景などを考察し，摂関政治期の社会について自らの考えを適切に表現している。 かな文字の成立などを例に，それまでに吸収した大陸文化を消化し，日本の風土や生活に適応した新たな文化が生まれたことを考察し，自らの考えを適切に表現している。 c:藤原氏が摂関政治という形で政権を独占した事実について関心をもち，そこにいたる歴史的背景などの課題を意欲的に追究しようとしている。 『源氏物語』などに代表される王朝貴族文化に関心をもち，いわゆる国風文化が形成された歴史的背景について意欲的に課題を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

	中世(院政期・鎌倉時代)	・院政と院政期文化 ・平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・北条氏の台頭と執権政治 ・元寇と鎌倉時代の社会・経済 ・鎌倉文化	a：平氏政権が築いた栄華について，『平家物語』の史料や厳島神社の平家納経などの資料などを素材に，情報を適切に読み取っている。 古文書や絵画資料に表れる武士の姿を観察し，情報を適切に読み取っている。鎌倉時代の武士の館について，『一遍上人絵伝』にみられる絵画資料から情報を適切に読み取っている。武士や庶民の姿が表れた例として，文学作品などの文献史料や絵巻物などの絵画資料から適切な情報を読み取っている。平氏政権の成立にいたるまでの武士社会の動向を理解し，保元の乱・平治の乱を経て生まれた平氏政権の特色に関する知識を身に付けている。武士の実像に関する知識を身に付けるとともに，資料からさまざまな解釈ができることを理解している。鎌倉時代におこった新たな仏教の特色について理解し，武士や庶民を題材にした文学や芸術などに関する知識を身に付けている。 b：保元の乱・平治の乱がおこった背景や結果について考察し，武家政権としての平氏政権が成立した意義を自らの言葉で適切に表現している。 さまざまな種類の資料が示す武士の姿について考察し，自らの武士に対する理解を適切に表現している。治承・寿永の内乱を経て成立した鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活について考察し，自らの言葉で適切に表現している。武家社会の成立や庶民の経済活動の活発化が文化に与えた影響を考察し，鎌倉文化の特色について自らの言葉で適切に表現している。 c：上皇による院政という政治形態が生まれた歴史的背景に関心をもち，院政期の社会に関して意欲的に課題を追究しようとしている。 院政と結びついた平氏が勢力を伸ばした歴史的背景に関心をもち，平氏政権の特徴について意欲的に課題を追究しようとしている。 武士が命がけで戦闘に臨んだ理由に関心をもち，さまざまな資料から武士の姿を意欲的に追究しようとしている。 ２度にわたる元寇（蒙古襲来）がおこった歴史的背景に関心をもち，鎌倉幕府に与えた影響などの課題を意欲的に追究しようとしている。 鎌倉仏教として新たな仏教がおこった背景に関心をもち，鎌倉時代の文化に関する課題を意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

	中世(室町時代・戦国時代)	・建武の新政と南北朝の内乱 ・室町幕府と守護大名 ・室町時代の外交 ・室町時代の社会・経済 ・室町文化 ・室町幕府の動揺～戦国時代	a: 建武の新政が短期間で崩壊した背景に関心をもち，室町幕府の成立に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。 中世の東アジア海域で活動した倭寇に関心をもち，東アジアの交易に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 自治都市や港町などのさまざまな中世都市が発達したことに関心をもち，下剋上の社会に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 金閣や銀閣の構造にみられる特色に関心をもち，室町文化に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の創設にいたる歴史的推移を理解し，室町幕府のしくみや守護による地方支配の様子などに関する知識を身に付けている。 倭寇の活動や日明貿易・日朝貿易の展開を世界史的視野から理解し，琉球・蝦夷地との関係を含めて基本的な知識を身に付けている。 南北朝時代の文化，北山文化，東山文化のそれぞれの特色を理解し，文化史的事象に関する基本的な知識を身に付けている。 b: 建武の新政が崩壊したのちにおこった南北朝の動乱が長期化・全国化した背景を考察し，室町幕府の成立過程について自らの言葉で適切に表現している。 倭寇の活発な動きを背景に日明貿易や日朝貿易が展開したことを考察し，琉球・蝦夷地を含む中世の東アジア世界について自らの言葉で適切に表現している。 武家文化と公家文化の融合が進んだ背景を考察し，公武を統一した政権としての室町幕府の特色について自らの言葉で適切に表現している。 c: 建武の新政をめぐる混乱の状況について，『二条河原落書』の史料からわかる情報を適切に読み取っている。 倭寇の活躍した地域の分布や，日明・日朝の交通路の特色などについて，東アジアの地図から情報を適切に読み取っている。 書院造の建築様式や衣食住の生活文化などを例に，今日の文化の源流につらなる要素がみられることをさまざまな文化史的事象から読み取っている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

	近世(安土・桃山時代)	・織豊政権 ・キリスト教伝来と桃山文化	a：刀狩の実行をめぐる豊臣秀吉の意図やその内容について，刀狩令の史料から情報を適切に読み取っている。 桃山文化を象徴する城郭建築にはどのような特色があるか，写真や図版などを活用して情報を適切に読み取っている。 織田信長と豊臣秀吉の天下統一の過程について理解し，検地と刀狩，朝鮮侵略に関する基本的な知識を身に付けている。 桃山文化の特色について理解し，茶道や芸能，南蛮文化に関する基本的な知識を身に付けている。 b：豊臣秀吉が実行した検地・刀狩の目的や結果を考察し，従来の社会からの大きな変化について自らの言葉で適切に表現している。 豪壮華麗な桃山文化が成立した背景を考察し，新興の大名や都市の豪商の動きについて自らの言葉で適切に表現している。 c：日本が初めてヨーロッパ文化と接触した歴史的背景に関心をもち，鉄砲やキリスト教の伝来をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 織田信長や豊臣秀吉の統一事業に関心をもち，豊臣政権の政策がもたらした社会的変革に関する課題を意欲的に追究しようとしている。姫路城に代表される城郭建築などに関心をもち，桃山文化の特色に関して意欲的に課題を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出
	近世(江戸時代1)	・江戸幕府の成立 ・江戸幕府の支配体制 ・江戸幕府の外交と鎖国 ・幕藩社会の構造 ・文治政治の展開 ・江戸時代の産業 ・寛永期の文化・元禄文化	a：朝廷や寺社に対する幕府の統制をめぐって，禁中並公家諸法度の史料から情報を適切に読み取っている。江戸幕府の鎖国政策が段階的に進められていったことをめぐり，鎖国令の史料からそれぞれの段階における内容を正確に読み取っている。 江戸幕府の成立過程から幕藩体制の形成にいたる経緯を理解し，大名統制や朝廷・寺社統制に関する基本的な知識を身に付けている。 江戸幕府が進めた鎖国政策の特色を理解し，鎖国下におけるオランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易に関して，基本的な知識を身に付けている。 武断政治から文治政治に推移した理由を理解し，徳川綱吉の政治や新井白石による正徳の治に関する基本的な知識を身に付けている。 江戸時代の農業や商工業の発達が交通の発達をもたらしたことを理解するとともに，貨幣制度や金融制度に関する基本的な知識を身に付けている。徳川綱吉の時代に行われた財政政策としての貨幣改鋳をめぐって，金貨の成分比の推移を示したグラフから情報を適切に読み取っている。 江戸や大坂の繁栄を示すものとして，江戸の日	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

			本橋や大坂の蔵屋敷を描いた絵画資料や都市人口の表から情報を適切に読み取っている。 華麗で洗練された元禄期の美術を代表する作品として，尾形光琳の屏風絵や『見返り美人図』などを鑑賞し，その特色を読み取っている。 b：大名統制の特色である参勤交代の意義について考察し，幕藩体制の特色について自らの言葉で適切に表現している。江戸時代に鎖国政策が行われた背景を考察し，幕府による貿易の統制やキリスト教の禁止という側面について自らの言葉で適切に表現している。 強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換した背景を考察し，徳川綱吉の政治や正徳の治の特色について自らの言葉で適切に表現している。 全国規模で交通網が発達した背景を考察し，江戸時代における農業や商工業の発達と商品流通の活発化について自らの言葉で適切に表現している。 元禄文化が上方を中心に展開した背景を考察し，商業活動の展開による都市の発展が町人の経済的繁栄を可能にしたことについて自らの言葉で適切に表現している。 c：徳川綱吉が発した生類憐みの令に関心をもち，武断政治から文治政治への転換について意欲的に課題を追究しようとしている。 江戸時代における交通の発達に関心をもち，経済と産業の発達に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 井原西鶴や近松門左衛門の文学作品に関心をもち，元禄文化の展開について意欲的に課題を追求しようとしている。江戸城のしくみや大奥の女性のありように関心をもち，江戸幕府の組織や幕藩体制をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの鎖国下の交易の実態について関心をもち，近世の外交をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。			
後期	近世（江戸時代2）	・享保の改革と大御所時代 ・列強の接近と天保の改革 ・江戸時代後半の文化と学問の発達	a：飢饉による人口減少と一揆のグラフから，大飢饉が起こっている時期と幕政改革が進められている時期に相関性があることを読み取っている。 江戸幕府の鎖国体制を脅かす外国勢力の接近をめぐる対応について，異国船打払令の史料から情報を適切に読み取っている。 江戸時代後期における教育の普及を示すものとして，藩校と寺子屋の広がりに関するデータと地図から情報を適切に読み取っている。享保の改革・田沼政治・寛政の改革のそれぞれの特色を理解するとともに，そこで進められた施策に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

			19 世紀における幕藩体制の内外の危機について理解し，幕府や諸藩で行われた改革に関する基本的な知識を身に付けている。 蘭学や国学などの新たな学問や思想が発達したことを理解し，江戸を中心に展開した化政文化に関する基本的な知識を身に付けている。 b：幕政改革が進められた背景にあった課題を考察し，享保の改革・田沼政治・寛政の改革におけるそれぞれの政策の特徴について自らの言葉で適切に表現している。 水野忠邦による天保の改革が実施された背景や目的を考察し，19 世紀に内外の危機が深まっていった様子を自らの言葉で適切に表現している。 江戸時代後期に蘭学が発達した背景を考察し，西洋学術の研究が近代化の基礎となったことについて自らの言葉で適切に表現している。 c：江戸時代における飢饉の被害や百姓一揆の展開に関心をもち，18 世紀以降に進められた幕政改革について意欲的に課題を追究しようとしている。 世界を見た漂流民・大黒屋光太夫の生涯に関心をもち，19 世紀における幕藩体制の危機について意欲的に課題を追究しようとしている。 『解体新書』の翻訳事業に関心をもち，蘭学（洋学）や国学にみられる新たな学問と思想について意欲的に課題を追究しようとしている。			
	近代（幕末・明治期）	・開国 ・幕末の動乱 ・明治新政府の成立 ・諸制度の改革 ・殖産興業と文明開化 ・明治初期の外交 ・士族反乱と自由民権運動 ・大日本帝国憲法と初期議会 ・条約改正 ・日清戦争 ・日露戦争と韓国併合	a：貿易の開始とその影響について，開港後の物価の急騰や輸出入の推移をめぐるグラフから情報を適切に読み取っている。戊辰戦争の経過をめぐって，地図資料から情報を適切に読み取っている。 五箇条の誓文や五榜の掲示などの史料を活用し，新政府が示した政治方針や民衆支配の特色について情報を適切に読み取っている。 明治初期の外交と国境の画定について，地図資料から必要な情報を適切に読み取っている。 義務教育の就学率の推移について，就学率を示したグラフから情報を適切に読み取っている。 列強のアジア進出を受けて日本が開国にいたった経緯を理解し，通商条約の不平等な規定や貿易による国内の混乱に関する基本的な知識を身に付けている。 幕末の政争を激化させた公武合体運動と尊王攘夷運動について理解し，大政奉還から戊辰戦争にいたる動向に関する基本的な知識を身に付けている。 政府が近代産業の移植を進めた目的を理解し，文明開化とよばれる社会の変化の諸相について	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

		・産業革命と社会問題 ・明治期の文化	基本的な知識を身に付けている。岩倉使節団の派遣の目的について理解し，沖縄県の設置をめぐる問題や清と朝鮮との関係についての基本的な知識を身に付けている。 立憲政治の成立にいたる過程と憲法の特色を理解し，初期議会における対立や条約改正交渉の進展に関する基本的な知識を身に付けている。 学校教育の普及と思想界の国家主義的な動向について理解し，文学や美術の新たな動きに関して基本的な知識を身に付けている。 b：日米和親条約と日米修好通商条約の締結された意義を考察し，新たに始まった自由貿易が社会にもたらした影響について自らの言葉で適切に表現している。 倒幕運動が功を奏した背景を考察し，政治の主導権をめぐる幕末の争いのなかで薩長同盟の成立によって討幕の気運が高まったことについて自らの言葉で適切に表現している。 天皇を中心とする統一国家の形成がめざされた背景を考察し，版籍奉還と廃藩置県の意義について自らの言葉で適切に表現している。政府が積極的に近代化を進めた背景を考察し，世界が一体化するなかで交通や通信の面で西洋文化の移入が進んだことを自らの言葉で適切に表現している。 不平等条約の改正が実現した背景にあるイギリスの日本接近の理由を考察し，自らの言葉で適切に表現している。教育界や思想界でナショナリズムの動きが現れてきた背景を考察し，その理由を自らの言葉で適切に表現している。 c:ペリー来航による日本の開国に関心をもち，鎖国政策の転換と自由貿易の始まりについて意欲的に課題を追究しようとしている。 大政奉還という形で江戸幕府が倒れた事実に関心をもち，幕府の滅亡にいたる歴史的経緯について意欲的に課題を追究しようとしている。明治天皇の東京行幸と明治改元など，新しい時代の到来を告げたできごとに関心をもち，統一国家の成立について意欲的に課題を追究しようとしている。 岩倉使節団の海外視察について関心をもち，明治初期の国際情勢について意欲的に課題を追究しようとしている。海外における明治憲法の評価に関心をもち，憲法の制定過程や初期議会の動向について意欲的に課題を追究しようとしている。 義務教育の就学率の向上に関心をもち，明治中期の国家主義的な思潮の広がりについて意欲的に課題を追究しようとしている。			

	近代（大正期・昭和戦前・戦中期）	・大正政変と第一次世界大戦 ・政党政治と大正デモクラシー ・協調外交と市民文化 ・昭和初期の経済・外交 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	a：第一次世界大戦中の日本経済の発展について，産業構造の変化のグラフからその特色を読み取っている。 日本国内におけるデモクラシー思想の広がりを支えた政治学の理論として，吉野作造の民本主義の基本的な考え方を史料から読み取っている。 昭和初期の日中関係を理解するために1920年代の中国情勢を示す地図や満州事変の要図を活用して，必要な情報を適切に読み取っている。 満州事変から日中戦争への発展をあとづけるために，日中戦争の広がりを示す地図から情報を適切に読み取っている。 桂園時代の展開から護憲運動を経て政党内閣が成立する経緯を理解し，第一次世界大戦中の日本の動向に関する基本的な知識を身につけている。 第一次世界大戦後の国際秩序や東アジアにおけるワシントン体制の特色を理解し，国内におけるデモクラシーの動向に関する基本的な知識を身に付けている。 昭和初期の恐慌が深刻化するなかで対中国政策が強硬なものに転じていく経緯を理解し，満州事変以後の政治や外交に関する基本的な知識を身に付けている。 日中戦争の拡大から第二次世界大戦の勃発にいたる流れを理解し，国内においてめざされた新体制に関する基本的な知識を身に付けている。 b：第一次世界大戦が日本に与えた影響を考察し，中国進出の動きや日本経済の発展について自らの言葉で適切に表現している。 中国や朝鮮で民族運動が展開した背景を考察し，第一次世界大戦後の新たな国際秩序について自らの言葉で適切に表現している。 満州事変が計画された背景を考察し，日本における恐慌の深刻化と社会不安について自らの言葉で適切に表現している。 日中戦争が長期化した背景を考察し，長期持久戦体制を作りあげる手段として国内体制が形作られたことを自らの言葉で適切に表現している。 c：第一次護憲運動で国会をとりまく民衆の姿に関心をもち，日露戦争後の政治の動向について意欲的に課題を追究しようとしている。 日本における普通選挙の実現に関心をもち，第一次世界大戦後の新たな国際秩序と日本への影響について意欲的に課題を追究しようとしている。 関東大震災がもたらした被害に関心をもち，都市の復興と大衆文化の広がりについて意欲的に課題を追究しようとしている。 五・一五事件や二・二六事件について関心をもち，軍部の台頭と中国侵略の経緯について意欲的	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

			に課題を追究しようとしている。 日中戦争下の日本軍の動向について関心をもち，日中戦争と国内体制の改編について意欲的に課題を追究しようとしている。			
	現代(昭和戦後・平成期)	・占領政策 ・占領政策の転換と主権回復 ・戦後の日本1 ・戦後の日本2 ・激動する世界と日本	a：日本国憲法の特色について，大日本帝国憲法との比較のなかで注目される部分に着目して条文の内容を読み取っている。 冷戦下の国際状況について，関係地図から情報を適切に読み取っている。日本の占領政策における非軍事化と民主化の方針を理解し，次々に実施された諸改革に関する基本的な知識を身に付けている。 冷戦の開始が東アジアに大きな影響を与えたことを理解し，日本の経済復興と再軍備が進んだことに関して基本的な知識を身に付けている。 沖縄返還の実現に不満の声があがった理由について，写真資料や沖縄米軍基地の分布図から情報を適切に読み取っている。 産業構造の高度化について，産業別就業者数の構成比を示したグラフからデータを読み取り，国民生活における耐久消費財の普及について，グラフから適切に情報を読み取っている。東西冷戦が激しくなるなかで日本が独立を回復した経緯を理解し，独立後の日本が対米協調を基本方針として展開した諸政策について基本的な知識を身に付けている。 日本経済の復興から高度成長への展開について理解するとともに，国民生活の変化や成長の代価として生まれた公害などの諸課題に関して基本的な知識を身に付けている。 経済の高度成長から安定成長への転換，バブル経済への展開について，景気変動と実質経済成長率のグラフから適切にデータを読み取っている。 55 年体制の崩壊を理解するために，衆議院選挙の政党別得票率と議席数のグラフからデータを適切に読み取っている。 日本経済の現状について，国債発行残高の推移と国債依存度のグラフなどから適切にデータを読み取っている。 高度経済成長の時代が終焉して安定成長へ転換した理由を理解するとともに，貿易摩擦の激化や国内の行財政改革について基本的な知識を身に付けている。 ソ連の解体と冷戦の終結にともなう国内政治の変動について理解し，55 年体制の崩壊とその後の不安定な政治状況に関する基本的な知識を身に付けている。 日本経済が停滞している一方でアジア諸国の経済発展が進んでいることを理解し，現代日本の抱える課題について基本的な知識を身に付けて	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク提出	ワーク提出

			いる。 b: 財閥解体や農地改革，教育の民主化や新憲法の制定などが実施された背景を考察し，連合国軍による日本占領の基本方針について自らの言葉で適切に表現している。 アメリカが日本占領の方針を転換した背景を考察し，東西冷戦が東アジアに及ぼした影響について自らの言葉で適切に表現している。日米安全保障条約が結ばれた背景を考察し，日本の独立は東西冷戦が激化するなかで実現したものであることについて自らの言葉で適切に表現している。 朝鮮戦争をきっかけに立ち直りをみせた日本経済がさらなる高度成長を実現した背景を考察し，自らの考えを適切に表現している。経済の高度成長が終わった背景を考察し，ドルショックと石油ショックが日本経済に与えた影響について自らの考えを適切に表現している。 今日でも世界各地で紛争が多発している背景を考察し，冷戦終結後の国際社会の激変について自らの言葉で適切に表現している。 現代の日本経済が停滞している背景を考察し，長引く不況に対応するための構造改革について自らの言葉で適切に表現している。 c: 戦争放棄をうたった日本国憲法の成立について関心をもち，連合国軍による日本占領の特色に関して意欲的に課題を追究しようとしている。 現在まで続く朝鮮半島における南北の分断に関心をもち，アメリカとソ連を中心とする東西冷戦について意欲的に課題を追究しようとしている。 安保改定におけるかつてない反対運動の盛り上がりに関心をもち，国際社会に復帰した日本の対米協調路線について意欲的に課題を追究しようとしている。 経済復興の象徴として開催された東京オリンピックや万国博覧会に関心をもち，経済の高度成長について意欲的に課題を追究しようとしている。 石油ショックにともなう買いしめや物価の高騰に関心をもち，日本経済が安定成長に転換したことについて意欲的に課題を追究しようとしている。 戦後政治の枠組みとして機能した 55 年体制の崩壊に関心をもち，1990 年代以降の世界と日本について意欲的に課題を追究しようとしている。 アジア諸国の経済発展に関心をもち，停滞する日本経済について意欲的に課題を追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度